

氏名： 千代 豪昭 (CHIYO Hideaki)
所属： 教育研究特設センター 特設遺伝カウンセリングコース
職名： 教授
学位： 医学博士
専門分野： 遺伝医学
URL： <http://www.dc.ocha.ac.jp/lifescience/GC/profile/chiyo.html>
E-mail： chiyo.hideaki@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

人類遺伝学／臨床遺伝学／遺伝カウンセリング学／生命倫理
Human Genetics / Medical Genetics / Genetic Counseling / Bioethics

◆主要業績

総数 (7) 件

- ・千代豪昭：クライアント中心型の遺伝カウンセリング。オーム社、東京、2008
- ・會田・斎藤監修：医学映像教材／遺伝カウンセリングを初めて学ぶ人のために。医学映像教育センター。東京、2008
- ・四元淳子、千代豪昭：染色体・遺伝子検査における遺伝カウンセリング。日本染色体遺伝子検査学会変「染色体・遺伝子検査のわかりやすいガイドライン III」、2008
- ・滝澤公子、四元淳子、千代豪昭：遺伝カウンセリングと私たちの社会。BIO INDUSTRY、25 (10) : 75 - 83, 2008
- ・Kayono Yamamoto et al.:Further delineation of 9p22 deletion syndrome associated basal cell nevus(Golin) syndrome:Report of two cases and review of the literature.Congenital Anomalies,2009

◆研究内容 / Research Pursuits

- 1) わが国における遺伝医療システムの構築を目標に、そのマンパワーとなる専門医療従事者の養成システムと資格認定制度の研究
 - 2) 遺伝カウンセラー養成のための教育カリキュラムの構築（本学においては文部科学省の人材養成資金の援助を受け、特設遺伝カウンセラーコースを設置して教育研究を行なっている。
 - 3) わが国の風土にあった遺伝カウンセリング学の構築。わが国は単一民族であり、文化的にも欧米諸国とは異り、また国民皆保険制度にもとづくわが国独自の医療制度がある。このためにわが国の風土にあった遺伝カウンセリングの方法論を構築する必要がある。
- 1) Promote the public recognition of Genetic Counseling/Counselor and get employments of Genetic Counselors in medical units (Authorize the service of genetic counseling in Health Insurance System, Authorize the qualification of genetic counselor to the National Liscence)
 - 2) Improvement of the Curricurums and educational enviroments of students (Cooperation between each graduate schools such as exchanging system of instructors/students, joint lectures, etc)
 - 3) Make up the the genetic counseling style which is suitable for the cultural climate of Japan

◆教育内容 / Educational Pursuits

遺伝カウンセラーを養成するために、基礎人類遺伝学、臨床遺伝学、ゲノム医科学など基礎となる知識教育と、遺伝カウンセリング技術の総論と演習などの技術教育、さらに医療概論、生命倫理学（講義・演習）などの態度レベルの講義を担当している。また認定遺伝カウンセラー制度による資格取得に向けての指導や、遺伝カウンセリング学構築をめざした博士論文指導を行なっている。

Specialized technical knowledge of life sciences, genetics, medical sciences, psychology, training in counseling, ethics and enough experiences in clinical settings are all inevitably needed for genetic counselors.

◆研究計画

遺伝カウンセリング学の構築と認定遺伝カウンセラーの社会的認知をどう進めていくかが大きな課題である。わが国独自の文化や医療制度が背景にあるが、海外の遺伝カウンセラー養成施設と連携しながら研究や情報交換を行なうことも重要と考えている。

◆メッセージ

2005年に開設された特設遺伝カウンセリングコースは日本学術振興機構（JST）の資金援助を受けて運営されていましたが、5年間でその役目を終え、2009年からはライフサイエンス専攻遺伝カウンセリングコースに移行して再出発します。これまでどおりの教育研究態勢を維持しますが、詳しくはホームページを参照願います。